

FinePlay!!

～ 互いに助け合う集団に～

豊中市立第五中学校
第1学年 65期 No.13
2016年7月6日(水)



期 末 テ ス ト 講 評



1学期期末考査が終了しましたが、いかがでしたか。中間考査と違って、教科も増えたり難しくなったり…。と、落ち込む姿が多く見られました。しかし、今回の“やり直し”をきちんとし、1学期の範囲をしっかりと復習しておきましょう。あきらめるのはまだまだ早い！先生方の講評をしっかりと読み、良かった所も良くなかった所も含めて、振り返りをしておこう！



今回の期末考査は、中間考査の範囲も復習として含んだものの、全体としてはよくできていました。出題傾向も前回とほぼ同じだったので、解きやすかったのではないのでしょうか。観点別評価の区分については、「表現の能力」**9**、「理解の能力」**1**～**4**、「言語や文化についての知識・理解」**5**～**8**としました。また、「コミュニケーションへの関心意欲態度」については、提出課題・小テスト・ノート・Speaking Test・授業姿勢から評価します。

正答率が低かった問題は**5**と**8**でした。**5**は単語の意味を答える問題で、「小学校で習う漢字」が書けていない人が非常に多かったです。中間考査の振り返り時にお話しており、「英語の試験であっても、正しい日本語、小学校で習うべき漢字が書けていない場合は減点」しました。漢字が苦手な人が多いように感じました。小学校の漢字は最低限書けるようにしてください。**8**は文法理解を問う問題でした。be 動詞の am と are、do 動詞（一般動詞）の基本を問う内容なので、間違えたところはしっかりと復習しておきましょう。

最後の**9**自己紹介文については、ちゃんと準備した人は満点（9点満点）もしくはほぼ満点をとれていました。Speaking Testに向けて取り組んだ内容なので、よく書けていました。少々難しい表現もがんばって覚えていた人が多く、採点していてとてもうれしかったです。

夏休みの課題は、（今のところ）≪1学期に習った教科書本文&英単語をすべて覚える（つまり“英語のつづり”を覚える）≫にする予定です。教科書の内容は、2学期に学習する内容の基礎（土台）となるものです。この夏休みに復習をサボってしまうと、2学期大変なことになりますよ…「わからない」を「わかる」にする取り組みをこの夏実行してください。



今回の期末考査では、中間直後からアナウンスしていた通り、世界の気候区分、アジア47ヶ国の分類、アジアの自然地名について、全体の約6割程度出題するという前提のもとに、問題を準備しました。基本的には授業の中で活用したプリントの内容が出題事項であるはずなので、学習していないことは出題されていないのですが、皆さん、復習は十分にできたのでしょうか？ただなんとなく地図や統計、プリントの記述をながめていることで「復習」をした気になっているだけになっていませんか？

大半の出題範囲を占めた、気候区分やアジアの分類、自然地名については、とにかく反復して地図やプリントを活用し、繰り返し書いてみたり、声に出してみたりするなどさまざまな「感覚」を活用して覚えるために時間を使うことが必要です。加えて各授業の中では、必ずその日の重要語句、内容が必ずあります。しっかりその用語調べをしておくだけでも、復習につながります。

一方授業の中でも、中間テストまでには無かった居眠りや提出物の不行き届き、忘れ物等が明らかに目立つようになってきている人がでてきています。社会科という教科は、テスト間際の付け焼刃だけで点数を稼ぐというのは不可能です。とにかく日ごろからの生活習慣で“やるべきこと”や“当たり前にならしていくこと”にその日の教科学習の見直し、を入れることです。夏休みには、ぜひ1学期全体の復習をしっかりしておいてほしいです。課題もそれに併せたものも準備していますので、2学期中間で再度地理的視野のテストが続きます。苦手意識を減らして、自信を持って臨めるようにしてください。

さらに、ノートが右ページへの記入なども含めしっかり工夫、活用できている人はテストもそれぞれ好成绩を挙げている人が多いです。これも今後の課題として取り組んでください。



期末テストは2回目の考査であり、「初めての形式で戸惑った」という言い訳は、もう通用しません。今回は前回よりも自由記述が多く、選択肢も素直なものばかりではなくなっているので、全体的には難しくなりました。その中でも、しっかりと勉強してきたことが分かる点数である人が多く、よくできていました。教科書の本文を読解する問題に関しては、普段の授業をちゃんと聞き、自分の考えを巡らせておくことが最大の近道です。問題3、4での、文法と漢字の問題は、「どこまでやるか」の問題であると思います。「分かった」と思ったらそこで止めて理解している気になる人と「実際に解ける」人とでは点数に大きく差が出てしまいます。あらゆる問題に対しても言えることですが、どこをゴールとするのかの違いです。「なんとなく分かった」で終わらせるのか「実際に解ける」「自分で説明できる」ところまでいけるのかどうかです。この間は近いようで、とてつもなく大きい差があります。より高みを目指して、普段の授業や取り組みに向き合ってほしいと思います。

1 2 3 4 5 数学 6 7 8 9 0

期末テスト、お疲れ様でした。今回も家庭学習用の教材である問題集・白プリント、そして授業で扱った問題を中心に出题しました。問題難易度ですが、問題集というA問題とB問題が50%ずつの構成でした。平均点が作成時の予想よりも10点ほど低く残念な結果だったと思います。また、中間テストと比較したときに、学習内容も難しくなり、簡単には点数はとれなくなっているのは事実です。そこで、日々の学習方法の見直しが必要と考えられます。毎回、授業では宿題を出しています。それは授業中に扱う問題だけでは学習量が少なく、定着させるにはどうしても量を必要だからです。難しく、わからない問題もあると思いますが、まずは家庭でしっかり向き合い、自分なりの答えを出してきてください。そして、答え合わせのあとのやりなおしがとても大切です。単純に「一が抜けていた」かもしれませんが、「一が抜けている」ということは考え違いをしている可能性も高いです。そこで、間違った問題をそのままにせず、しっかりやり直しをし、自分のできなかったところをできるようにしていきましょう。学習はひとりひとりの意識の差で結果が変わってきます。この夏休み、1学期の学習内容を復習し、弱点を少しでも減らせるように取り組んでいきましょう。

理科

テストの範囲が中間考査のほぼ倍あったので、学習の時間が足りなかった人も多かったように見受けられました。テストの内容は、中間考査のときと同じように白プリントや授業で行った内容からしか出題していないので、学習していればできる問題が多かったと思います。テスト前に頭に叩き込むのではなく、日々の学習（授業後の家での復習）をもっと大切にしていきましょう。また、中間考査の反省でも言いましたが、漢字のミスや答え方（記号？名称？）の間違いが多くありました。問題文をしっかり読んで解答するようにしましょう。

技術

4月からミニトマトの栽培を通して、生物の育成を学ぶことができました。知識に関しては、比較的よくできていました。また、作業の内容も、日々の授業で力をつけていることが分かります。ただ、なぜその作業をするのか、どのように生育していくのかといった工夫に関しては、もっと学習を深めてほしいです。これから、なぜ、どうしてといったことを考えつつ、授業に臨んでほしいです。

家庭

今回は、中学生になって初めての家庭科のテストでしたが、栄養素の問題が難しかったようです。どの栄養素がどんな働きがあるのかを確認しながら学習しましょう。6つの食品群はよく学習していました。ビタミンについては、脂溶性と水溶性が把握できていない人が多かったです。復習しておきましょう。

